

『Tsuku-場 第15回イブニング・レクチャー』アンケート集計結果

◆多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。簡単ではありますがアンケートを以下のようにまとめました。

- ・開催日：第15回目 2021年3月12日(金)19:00～20:30
- ・場所：オンライン開催
- ・内容：シニアの生涯発達を支えるモチベーション
～働くシニアから支援が必要なシニアまでのキャリアを考える～
- ・講演者：堀口 康太 氏
白百合女子大学 人間総合学部 発達心理学科 講師
筑波大学働く人への心理支援開発研究センター 非常勤研究員

◆参加状況

申し込み 人数	参加者	アンケート 回収数
253	180	131

◆満足度について

とても高い	高い	普通	低い	とても低い	未記入	計
49	67	15	0	0	0	131

◆アンケートに書かれたコメントの中で、代表的なものを抜粋しました。

- ・冒頭の雑学&歴史コーナーからの、生涯発達の視点が面白かったです。
- ・シニア問題はシニア当事者ではなく周囲の問題という現状、という話は深かったです。
- ・高齢者のwell-beingにとって、自律的動機づけが重要であることがわかりました。
- ・他者に迷惑をかけたくないという意識が他者の役に立ちたいということの裏返しということが大変参考になりました。
- ・高齢者ばかりではなく、私の支援対象である多くの障害者にも通じるものがありました。
- ・先生の優しさが、研究者でありながら、相談の現場に携わっているんだなと感じられました。
- ・家族が定年退職して、数年何もせずに家にじっといたが、最近になって地域の活動に出かけるようになった。今日のレクチャーで心理的な変化があり、内発的な動機づけによるものであった事がわかった。
- ・高齢者になっても、社会参加に対してモチベーションを持つことの大切さをわかり、気づいたことで自分のこととして、しっかり確認して今後も、今の活動を続けようと思いを強くしました。
- ・自律的モチベーション、統制的モチベーション、人は両方持っていて、成長発達のプロセスの中でバランスが変化することにとっても共感しました。
- ・退職後の生き方や社会参加について、自分のことについて置き換えて考える機会となった。
- ・少し難しかったですが、シニアのキャリアに対する理解が深まりました。
- ・コロナ禍でコミュニケーションスタイルが変化してきている今、シニアだけに限らず、コミュニケーションが生きていく上で、いかに重要なのか、改めて気づかされました。地域包括ケアを動機付けで支援していく取り組みは福祉介護だけではなく、キャリア支援者でも関わられるように思いました。
- ・テーマの一つ高齢者のモチベーションを理解することの大切さ、その立脚点のあり方、自発的動機づけと統制的動機づけの捉え方とそこに優劣を見ない視点。有意義に学びました。今後も継続して勉強します。
- ・質疑応答では、実際のフィールドワークでのお話をいただき、リアルに伝わってきました。
- ・大変配慮いただいた進行で本当にこちよく受講させていただきました。こういう進行がいいのかととても勉強になりました。
- ・とてもわかりやすく楽しみながら拝聴できる内容で、もっと長時間聴きたいと感じました。